

ケア・カウンセリング通信60・61合併号(2023/10/10)

選挙公報およびONLINE総会準備号(23回総会報告)

2023年ONLINE第24回総会/プレゼミ&全国研修大会

## 総会テーマ：自己肯定感の心理学

～ ケアリング実践を支える基盤として ～

代表理事 品川博二 臨床心理士・公認心理師

<巻頭言> 2023年、新たな研修戦略の展望!

2023年の我が国の保険医療の状況は、コロナ禍が一定の落ち着きを取り戻し、外国からの訪問制限の緩和もなされました。しかしながら、まだまだ潜在化する深刻な事態の警告を発する学者も少なくありません。

私たちの協会も、2020年2月以降、通常の対面研修を自粛しONLINE研修に事業の主体を移行してまいりました。しかしながら、一定数の先進的な会員の参加を得ておりますが、全体としては対面研修時の勢いは得られておりません。なんと言っても、ケア・カウンセリング研修は、対面の臨場感の「いのちの分かち合い」がそのパワーの源泉でした。ZOOMでの研修は、どうしても「いま、ここでの体験」による創造性の感性を求めるのは困難です。

本部としても、ONLINE研修の多角化・多様化を図り、入門講座・基礎講座、専門講座、そして臨床ワーク・シェアリング、セルフケース検討会と、月間5つのプログラムを企画実行してきました。その中でも、専門講座はオンデマンド方式を始めて採用し、受講生が自己の時間の都合に合わせて受講できるシステムを提供しました。しかしながら、結果としてこのオンデマンド方式も、多くの受講生のニーズを把握するに至りませんでした。

やはり、ケア・カウンセリング研修は「いま、ここでの体験」で展開するしか、方法はない、との現実の壁を越せないとの結論に至りました。その閉塞感を突破したのが、関西エリア支部の皆さんでした。彼女らは、会員の皆さんを姫路の会場に呼びかけ、品川講師はONLINEで参加するという、リモート講座方式を提案し、実施されました。結果は、「久しぶりのケア・カウンセリング講座の再開!」でした。会場の受講生のノリも良く、十分に手応えのある研修になったと思いません(その場に居ない品川講師だけが現場感を味わえず欲求不満でしたが!)

ONLINE研修の停滞感を突破するもう一つの試みが、本年8月から開始された

「研修グループ・シェアリング」のプログラムです。

これは、「ON LINE 研修が一つ増えた」だけではありません。これまでの ON LINE 研修が、「教える者」と「教わる者」との、「伝統的な教育」の場でしたが。研修グループ・シェアリングは、「分からない者」が他の「分からない者」とシェアリングをするという「共育」の場なのです。講師は居ますが、あくまでも交通整理のコーディネーター役です。ON LINE の ZOOM という、情報共有はできるが、情動共有が弱いという弱点を乗り越えて、参加者の参加感は、これまでの ON LINE 研修とは明らかに異なる手応えでした。

ON LINE 研修は、今後、コロナ禍の鎮静化に伴い、その役割が限定的になるとは思いますが、しかしながら、北海道の会員が沖縄の会員とシェアリングができる ON LINE 研修のメリットは、けっして小さなものではありません、今後とも多彩な工夫を重ね、魅力的な ON LINE 研修を企画し、復活される対面研修と共に、ケア・カウンセリング協会を発展させてゆきたいと思っています。

### <ケア・カウンセリングと自己肯定感>

今回の総会テーマは「自己肯定感」を扱います。多くの人々が心理学に期待することは、「自己肯定感」self-esteem（自尊感情）を上げることではないでしょうか？自己肯定感を上げて、仕事（目標設定）にも人間関係（他者連携）にも、元気に取り組みたいと願っていると思います。

しかしながら、しばしば「私って、自己肯定感が低いのよ！」とネガティブに思い込んでいることも少なくありません！実のところ、この「自己肯定感が低い」という言葉にとらわれたまま、その先の問題解決から「逃げ続けてしまう」私達がいるかもしれません！今回の総会では、この自己肯定感を改めて理解し、自己肯定感を上げて「元気の出る心理学」を検討してみましよう！

### <自己肯定感が高い>

「いま、ここでの自分を肯定できる」自分が「この世に生きていて良い」と思える。「良いも悪いも、あるがままの自分」を受容し、他者連携ができる。

→ 自分の長所を認めてこれを伸ばすことはもちろんですが、不十分な自分の側面も「明らめ、許す」という（自己の欠損のこだわりにとらわれず、可能な努力を続けること。他者のせいにしてたり、サポートが足りないことで他者を恨まない）。たとえば、父親から暴力を受けた思春期の娘さん（クライアント）の事例がありました。娘さんが恨んだのは、叩かれる自分を父親から守れなかった、「自分を見捨てた母親」だったのです。しかしながら、今は父も母も「諦め許せる」クライアントさんになりました。過去を内省し（事実を現実として受け入れる）、未来に展望し（可能性にかける）、現在を修正できる（相対性の改善）のは、間

違いなく自己肯定感のなせる業です。

### <自己肯定感が低い>

「いま、ここでの自分を肯定できない」自分が「この世に生きている価値がない」と思っている。「あるべき理想の自分」に捕らわれ、そうでない現実を受け入れられない。他者連携できない。

→ 現実の自分の不十分さを受け入れられない。幻想レベルの自己主張での他者連携に応じる他者は居ません。たとえば、相手の弱点を執拗にあげつらい、過剰に攻撃するのは、自分の「正しさ」を証明しようとする、自己肯定感の低さからくる行動です。

過去を悔い、未来に希望を持たず、現在を回避・自閉する。

取り消せない過去、望みのない未来、受け入れられない現実。

### <自己肯定感がパーソナリティを補完する>

#### 1：問題状況（パーソナリティ機能低減）

クライアント（心に問題を抱えている人）とは、どんな状況か？

- ①助けてくれる他者が居ないまま（「他者連携」を失ったまま）、
- ②自分が為すべき行動が分からない（セルフ・コントロール）行動を取れないでいる。
- ③「狭い視野のままの受け身で（セルフ・モニタリングは乏しい（能動性を失って）自己体験を過ごしている状態の人、のことですね。

#### 2：「他者連携」（カウンセリング）

カウンセリングとは、クライアントのセルフ・モニタリング（自己観察）とセルフ・コントロール（自己制御）が、その人の人格内部で適切に機能できるようにカウンセラー（のメタ認知）がサポートすることです

#### 3：関係補完

カウンセリングの実際で、「心の問題」をサポートするには、

- ①クライアントとカウンセラーは「他者連携」（治療同盟）を契約する。（人間関係の再構築）
- ②クライアントが「実行可能なターゲット行動」を、クライアントとカウンセラーが協働して設定する。（治療計画）（セルフ・コントロールの再設定）
- ③クライアントがターゲット行動を実践し、成功することで、セルフ・モニタリングが活性化（セルフ・モニタリング回復）する。

#### 4：人格再構築

すると、①人間関係（他者連携）、②セルフ・コントロール、③セルフ・モニタリングの3項目が改めて機能することで、クライアントの人格（パーソナリティ）が活性化する。もって「心の問題」が軽減し、パーソナリティの再構築に向かうというわけです。これらの心の機能が活性化する基盤こそ自己肯定感であると理解できるでしょう。

理事会議長／代表理事 品川博二

## 2023年度 第24回総会・プレゼミ 実施要項

実行委員長	相澤久美
総合司会	勢司博之

### <プログラム>

11月18日（土） 総会プレゼミ「自己肯定感の理解」

①基調講演「自己肯定感とは何か！」14:00～14:50

講師 品川博二 代表理事

②グループ・シェアリング「私にとって自己肯定感とは？」

（一部、メンバーは交渉中）

15:00～17:00

杉崎チズ子 老健相談員

松倉理江 看護管理者

小林信子 看護師

菊池聡美 施設指導員

八木理恵 介護支援専門員

佐藤友規子 障害施設看護師

③モデル・シェアリング 19:00～21:00

「自己肯定感とケアの本質をめぐって」

品川博二 代表理事／臨床心理士・公認心理師

今川恵子 精神科看護師

八代裕美子 保健師

井口敦子 精神保健福祉士・公認心理師

田辺ゆきの 公認心理師

## 11月19日(日) 総会&全国研修大会

①総会特別講演 10:00~11:50

「ケア・カウンセリングと自己肯定感」

品川博二 代表理事/臨床心理士・公認心理師

②総会 13:00~14:00

③総合シェアリング 14:30~16:00

小グループによるシェアリング \*以上、敬称略。

開催方式：ONLINE 開催 (Zoom)

参加費 : 11月18日19日(2日間) ￥10,000

11月18日 プレゼミのみ ￥6,000

11月19日 総会のみ ￥5,000

(非会員は+1000円)

\*総会・プレゼミは、研修チケットは使用できません。

### 実習単位

「総会プレゼミ」および総会日の「全国研修大会」は実習科目です。

実習単位数は、「ケア・カウンセラー」登録時に所定の単位数が必要です。

①プレゼミ+総会=実習15単位(ワークショップ扱い)

\*「認定ケア・カウンセラー」登録に、ワークショップ単位が必須です。

→ 総会、行動形成法、その他のワークショップ。

\*プレゼミと総会の両参加のみワークショップ扱いの加算登録可。

②プレゼミのみ参加(実習5単位)

③総会のみ参加(実習5単位)

### <2023年ケア・カウンセラー試験>

\*ケア・カウンセラー試験：2023年11月18日(土)(プレゼミ当日)

ONLINE形式。10:30~11:50 (ZOOMでの課題試験)。

\*該当者は、以下の受験資格を確認し、2023年10月21日以降、事務局にメールでお申し込みください：11月13日(月)24時締切。

\*試験結果は、各受験生に直接通知する。

\*コロナ禍があけるまで、認定講師試験は見合わせる。

\*「認定カウンセラー試験」は、2024年以降に公示します。

### <ケア・カウンセラー試験・受験資格>

ケア・カウンセラー4級 ①②は必須、

①ケア・カウンセリング協会入会后1年を経過された会員

②ON LINE 研修：「入門講座」・「基礎講座」・「専門講座」・「臨床ワーク・シェアリング」、「セルフケース検討会」、「研修グループ・シェアリング」、「ON LIEN 個人ガイダンス」以上を（科目にこだわらず）12単位以上受講された会員が受験できます。（受講時間＝1単位、例、3時間で3単位）  
入門講座（2単位）、基礎・専門講座（各3単位）、臨床ワーク・シェアリング（3単位）、セルフケース検討会（3単位）研修グループ・シェアリング（3単位）、ON LIEN 個人ガイダンス（1回：2単位）

**ケア・カウンセラー3級 ①必須、②③④から2つ選択**

- ①ケア・カウンセラー4級取得後、1年を経過した会員
- ②ケアリング臨床の経験が2年以上ある会員（もしくは40歳以上の社会人経験のある会員でも可）
- ③ケア・カウンセリング研修単位24単位以上受講された会員
- ④「臨床WS」・「セルフケース検討会」・「研修グループ・シェアリング」  
「ON LIEN 個人ガイダンス」の実習科目の24単位以上受講者。

**ケア・カウンセラー2級 ①⑥は必須、②③④⑤から2つ選択**

- ①ケア・カウンセラー3級取得後2年を経過した会員
- ②ケアリング臨床の経験が4年以上ある会員（同じく社会人25年も可）
- ③ON LIEN 個人ガイダンス24単位修了した会員
- ④ケア・カウンセリング研修単位48単位以上受講された会員
- ⑤「臨床WS」「セルフケース検討会」「研修グループ・シェアリング」  
「ON LIEN 個人ガイダンス」の実習科目の48単位以上受講者。
- ⑥セルフケース検討会で、事例発表を3例提出していること。

**ケア・カウンセラー1級 ①⑥は必須、②③④⑤から2つ選択**

- ①ケア・カウンセラー2級取得後2年を経過した会員
- ②ケアリング臨床の経験が6年以上ある会員（同じく社会人30年も可）
- ③ON LIEN 個人ガイダンス72単位修了した会員
- ④ケア・カウンセリング研修単位96単位以上受講された会員
- ⑤「臨床WS」・「セルフケース検討会」「研修グループ・シェアリング」  
「ON LIEN 個人ガイダンス」の実習科目の60単位以上受講者。
- ⑥セルフケース検討会で、事例発表を3例提出していること。

### <2022年度ケア・カウンセラー試験>

\*延期になっていた2022年度ケア・カウンセラー試験は、2023年9月3日にONLINEで実施しました。結果は、各受験生に直接通知いたしました。

2022年度ケア・カウンセラー試験公示 2023年8月1日

日本ケア・カウンセリング協会試験実行委員会

委員長/代表理事 品川博二

\*ケア・カウンセラー試験：2023年9月3日（日）

ONLINE形式。10:30~11:50（ZOOMでの学科試験）。

### <第24回総会・プレゼミ参加申し込み>

QRコードからフォームに入力しお申し込みください。

申込期限 11月13日(月)24時

お支払い方法

- ①協会郵便振込口座 00110-7-147466 日本ケア・カウンセリング協会
- ②みずほ銀行（池袋）普通 4061177（特非）日本ケア・カウンセリング協会



### <会員情報の変更>

オンデマンド配信（会員には無料配信）の開始に伴い、電子メールにてご案内しています。連絡先情報の変更などございましたら、QRコードからフォームに入力し送信をお願いします。



## 第11回 協会役員選挙公報（信任投票）

今回ケア・カウンセリング通信60・61合併号を、協会役員選挙公報として各役員の情報に掲載いたします。新型コロナウイルスの影響は、未だ完全な終焉を確認できず、対面研修が一部を除いて実施できない状況が続いております。この現状に鑑み、前年度役員の方には原則として形式的に役員任期を踏襲していただくことをお願いしております。それに伴い、通常の選挙方式に代わり、信任投票による役員選挙を行います。会員の皆様には、よろしく事態をご賢察し、ご理解をお願いいたします。

役員会議長（代表理事） 品川博二

## 選挙方法（信任投票）

下記のアドレスにメール（FAX 可）で、**不信任票のみを送信**ください。

例）件名「信任投票」（本文）「\*\*\*\*エリア × 山田花子」

- ①全国区（1名）及び会員所在地のエリアの候補者（1名）に対し、**不信任の場合のみ、該当者の名前の前に×を記載し送信。**
- ②信任の場合は、「**〇を付けて送信**」は無用です。
- ③11月12日までに不信任メールが所定数（1/3以下）無ければ、信任と見なします。
- ④発信者名は必須（発信者の秘密は選挙管理委員のみで厳守します）。

事務局アドレス：[npo-icca@npoicca.org](mailto:npo-icca@npoicca.org)

Fax： 03-6893-3931

（\*）出来るだけ、メールをご利用ください。

以下、役員選挙予定者一覧（現時点での予定者）

\***不信任**の投票は、全国区1名、会員所在地のエリアの候補者から1名のみ×記載をします。**信任**の場合は、いずれも投票無用です。

### 全国区

代表理事 品川博二

専務理事 松倉理江

### 北海道エリア支部（北海道）

理事 田上敬子

理事 鈴木敬子

理事 上山真弓

### 東北エリア支部（青森、秋田、岩手、山形、福島）

理事 福井敦子

理事 土井麻衣子

### 首都圏エリア支部（東京、千葉、埼玉、神奈川、栃木、群馬、茨城）

理事 相澤久美

理事 佐藤友規子

理事 勢司博之

### 中部エリア支部（愛知、岐阜、静岡、長野、富山、新潟、石川、福井、三重）

理事 豊田裕子

理事 中道尚美

### 関西エリア支部（大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀）

理事 小林信子

理事 今川恵子

中国四国エリア支部（香川、徳島、高知、愛媛、岡山、広島、山口、島根、鳥取）

理事 矢野恵子

理事 小虎佳恵

九州沖縄エリア支部（福岡、佐賀、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄）

理事 後藤倫子

理事 大川嶺子

以上（敬称略）

## 2023年特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会

### 第24回 ON LINE 総会執行部提出案

代表理事・品川博二

#### <基本方針>

2023年10月の時点で、予断を許さぬコロナ禍の潜在脅威が続いています。その状況下、対面研修の可能性を試みながらも、協会メイン活動として、2024年前半までは、ON LINE 研修を中心とした、研修事業を継続してゆきます。

#### <総会議決案件>

議案1、ON LINE 研修事業の拡充と会員への情宣活動を充実する。

- ① ON LINE 研修に特化した協会活動を継続して実施する。
- ② 既存会員の、ON LINE 研修参加への促進・活性化プログラムとして、会員の自由参加（無料）の「研修シェアリング・グループ」を導入する。  
→ すでに8月より試行開始。

議案2、リモート研修を活用したコミュニティ研修を展開する。

- 本年1月より試行していた、講師のリモート参加による、現地のコミュニティ研修を、正規の協会プログラムとして、各地で展開する。  
→ 品川講師と現地の認定講師による、コーディネートでの対面研

修を定期開催とする。

→ 姫路に続き、札幌でセルフケース検討会を開始予定。

### 議案3、「コンプライアンス研修」を対外展開する。

①会員所属の病院・施設に協会「コンプライアンス研修」のプログラムの紹介を働きかける。

②関連団体および一般企業への「コンプライアンス研修」を宣伝する。

→ 継続事案

### 議案4、「次世代」ケア従事者のON LINE 研修への参加促進キャンペーン

ON LINE 研修の受講生を拡大する為に、20～30代を対象に無料新人募集キャンペーンを実施する。

→ 継続議案

### 議案5、協会活動活性化の為に、会員ニーズをシェアリングする「会員フォーラム」をON LINE 開催する（当面は4回/年。）

### 議案6、各コミュニティーにおける社会福祉エリアの活動へ、ケア・カウンセリングのプログラムを無料でサポートする。

→民生委員等を対象にしたカウンセリングプログラムの提供。

### 議案7、今年度決算書・次年度予算案

\* 予算案、決算書は別紙報告

\*2022年11月20日実施の総会報告

特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会

第23回ON LINE 総会報告

理事会議長（代表理事）・品川博二

## <基本方針>

コロナ禍に関する多くの規制や措置の多くは、現在、解除および緩和されています。しかしながら、未だに予断を許さぬコロナ禍の潜在脅威の下、協会の活動形態として、少なくとも2023年前半までは、ON LINE 研修を中心とした、ケア・カウンセリング事業を引き続き継続してゆきます。

## <総会議決案件>

### 議案1、ON LINE 研修事業の拡充と会員への情宣活動を充実する。

① 当面は、ON LINE 研修に特化して、協会活動を継続して実施する。

- ② 既存会員の、ON LINE 研修参加への促進プログラムとして、本部の「導入プログラム」とエリア単位での、グループセッションを企画する。
- ③ 既存会員の ON LINE 参加を容易にする為に、「導入ガイド」のプログラムを準備する。
  - 23 年 8 月現在、関西エリアでのリモート研修、及び東北エリアでの対面研修が実施・予定されています。その他の地域では、東京エリアを始め、会場使用が制限され、開始まで待機を要します。

**議案 2、オンデマンド研修を活用したコミュニティ・グループを検討する。**

- 本年 5 月より配信中のオンデマンド講座を活用して、各エリアで独自の学習グループを企画する。各エリアにおける認定講師やケア・カウンセラーがリーダーとなって運営。当面は ON LINE で行い、可能となれば、対面学習で実施（単位申請可）。
- ON LINE での学習意欲喚起が期待されたオンデマンド研修ですが、参加が芳しくありません。理由として、オンデマンドでの利便性が図られても、対面研修のリアリティーが乏しければ会員の参加意欲を活性化が難しいと思われます。特に臨床理論のケア・カウンセリング学習は、対面研修のウエイトが高く、会場の他の参加者との「迅速な他者連携」が得られないことが、最大の要因と思われます。

**議案 3、「コンプライアンス研修」を対外展開する。**

- ① 会員所属の病院・施設に協会「コンプライアンス研修」のプログラムの紹介を働きかける（リーフレット作成中）。
- ② 関連団体および一般企業への「コンプライアンス研修」を宣伝する。
  - ① JCHO 北海道病院での管理職研修を実施。
  - ② 看護管理者研修（セカンドレベル決定）

**議案 4、「次世代」ケア従事者の ON LINE 研修への参加促進キャンペーン**

- ON LINE 研修の受講生を拡大する為に、20～30代を対象に無料新人募集キャンペーンを検討する。
- ON LINE 講座へ会員が新人を紹介した場合、2回招待とする。

**議案 5、今年度決算書・次年度予算案**

- \* 予算案、決算書は別紙報告
  - 受講生の参加数低下による収益の減少。
  - 講師料他経費の徹底的な削減と受講生の募集キャンペーン。
  - 次年度の黒字化

## ＜総会への報告＞

**報告1、オンデマンド・プログラム「人間関係の原点」が専門講座として開講**  
2022年5月より開講のオンデマンド講座とは、会員の皆さんが、各自の都合に合わせて、「好きな時間に何度でも」視聴できるON LINE研修のシステムです。これまで、参加を見送っていた会員には、より自由にプログラムに参加できるようになりました。今後とも、より視聴しやすいプログラムの開発に努め、また各エリアでの自主研修グループの企画などで、協会活動を下支する実践プログラムとして期待されます。

**報告2、(公社)日本臨床工学技士会「臨床実習指導者研修会」WEB定期開催**  
2023年1月以降、全国の臨床工学技士の臨床指導者を対象に、厚労省指定の定期研修が今後数年に渡り開催されています（ZOOMによるリモート研修）。この研修の講師に、協会の品川講師コミュニケーション研修の指導にあたることになりました。臨床工学技士の皆様には、ケア・カウンセリングのコンセプトが好評価を受けており、今回の事業依頼につながりました。今回の研修事業は全国組織の医療職団体に、ケア・カウンセリングのコンセプトを広める好機となっています。

**報告3、茨城県社会福祉協議会 対面研修開催（7月14日/12月5日）**  
「利用者・支援者/共に元気になる対人学」コロナ禍のなかで、通常の対面研修が困難となった茨城社協様で、協会から品川講師がON LINE研修でケア従事者への講演を実施しました。5月に引き続き、連続講座として「臨床死生学」が年末にも開催されました。

**報告4、千葉県流山市対面研修（5月）**  
千葉県流山市の全市のケア従事者を対象に、市役所健康福祉部介護支援課が主催の介護保険施設職員向け「高齢者虐待防止研修」が、管理者向けの対面研修および市内全施職員対象のONLINE研修が開催されました。ケア・カウンセリングのコンセプトが、虐待防止の原理として、地方公共団体で認知された最初のケースです。これを基盤に、今後とも波及に努めたいと思います。

**報告5、岩手県看護協会（ON LINE研修）（9月3日）**  
コロナ禍のなかでのON LINE研修でしたが、未来の看護部長を目指す受講生の意気込みは高いものでした。ケアリング業務をより高いレベルで見直したいとするスーパなセルフ・モニタリングの意義が、ケア・カウンセリングの研修を通して、検討されました。「岩手県の看護師長さんはケア・カウンセリングに明るい」という伝説がうまれたかも（？）

**報告6、群馬県児童施設連絡協議会の職員研修に、品川代表が講演（9月9日）**

何らかの事情で保護者の養育を受けられない子ども達のための施設として「児童養護施設」があります。おそらく、今年度で品川が講演をした研修で、最も印象深い講演会のひとつでした。受講されているスタッフの方々の深層演技が伝わってくるのです。最後に講演の講評をされた主催者側の先生は、言葉になりませんでした。彼女の胸に去来した子ども達の思いがあふれ出てしまったのです。共に歩みたい、そう思える会でした。

#### **報告7、精神障害者家族会「フレッシュ厚木」講演（6月26日）**

全員がマスクでの対面研修でした。参加されたご家族の切なく熱い思いが伝わる暖かな家族会でした。講師が恒例とするフィードバック・レッスンには、皆さんは戸惑いながらも、笑い声が絶えない研修となりました。最後に質疑応答では、深刻な悩みとけして諦めない希望の言葉がシェアリングされました。

精神障害者の家族会は、協会が最も力を入れる派遣講演会です。

#### **報告8、札幌学院大学コミュニティーカレッジ（ON LINE 研修）**

大学の公開講座として、「自他境界の越境」および「深層演技」について、品川講師が講演をしました。この市民講座は、ケア・カウンセリングの理論を、医療関係者でなく、一般市民の皆さんに講演する意味で、大切なプログラムです。難解な専門知識ではなく、「分かりやすいがホント」の知識として、ケア・カウンセリングを洗練させたいと講師は願っているからです。しかしながら、ON LINE 研修の為、ややもすると一方通行の講義であるが故に、難解となる印象を否めませんでした！さらに「わかりやすさ」に努めたいと思います。

#### **報告9、企業にコンプライアンス研修を実施しました。（8月23日）**

NHK「紅白」にも歌手を送っている中堅の芸能プロダクションの社員を対象に実施。今後、コンプライアンス研修の需要は医療・福祉エリア以外にも大きな潜在市場であり、協会研修の新たな開発エリアとして見込めると思われます。

#### **報告10、昨年度に続き、協会功労賞は、中道尚美さんに決定いたしました。**

コロナ禍のなかで、協会 ON LINE 研修システム運営に尽力された功績を高く評価し、賞品と賞状をお渡しします。

#### **報告11、ON LIEN 研修に参加が難しかった会員への優遇措置**

協会研修のON LINE 化により、この間、対面研修でしか参加が難しかった会員は、研修の機会が得られなかった事実があります。そのデメリットを補償する対応を検討します。

→ 会員からのご要望毎に事務局で対処します。

#### **報告12、コロナ禍の特別措置として、研修チケットの有効期間を延長します。**

対面研修が再開できるまで、当分の間、期間を延長します。

(以上)

NPO 法人日本ケア・カウンセリング協会事務局 (カスタマー・センター)  
〒 107-0062 東京都港区南青山二丁目2番15号 ウィン青山942  
電話 03-6403-7495 FAX 03-6893-3931  
[npo-jcca@npojcca.org](mailto:npo-jcca@npojcca.org) (協会メールアドレス)  
<http://www.npojcca.org> (協会HP)  
<https://jcca2000.jimdofree.com/> (ON LINE 研修)

令和3年度 特定非営利活動に係わる事業会計決算書

令和3年 10月 1日から令和4年 9月 30日まで

特定非営利活動法人  
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員年会費	1,402,300	1,402,300
2 事業収入		
研修事業収入	1,317,416	
登録審査料	3,000	
登録料	0	
更新料	3,000	
書籍売上	0	
CD売上	0	
雑収入	6	
カウンセリング利益収入	0	1,323,422
3 特別収入		
総会参加費	145,000	
東北支援金収入	0	
三菱商事震災助成金	0	145,000
当期収入合計		2,870,722
前期繰越金		1,306,059
収入合計		4,176,781
II 支出の部		
1 事業費		
通信発行費	24,970	
研修事業経費	1,970,000	
書籍仕入高	0	
期首書籍等棚卸高	0	
期末書籍等棚卸高	0	1,994,970
2 業務経費		
① 特別費		
総会開催費	30,000	
東北支援金からの支出費	0	
助成金からの支出費	0	30,000
② 事務局費		
地代家賃	280,000	
人件費	1,020,000	
法定福利費	0	
旅費交通費	120,000	
通信費	24,980	
事務用品費	16,330	
租税公課	600	
支払手数料	1,740	
商標権償却費	0	
減価償却費	0	
外注費	414,086	
水道光熱費	0	
保険料	0	
ボランティア諸経費	0	
雑費	0	
修繕費	0	1,877,736
当期支出合計		3,902,706
当期収支差額		△ 1,031,984
次期繰越収支差額		274,075

令和3年度 特定非営利活動事業 貸借対照表

令和4年9月30日作成

特定非営利活動法人  
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
流動資産		
銀行預金	597,220	
郵便振替口座	7,602,025	
現金	596,442	
郵便貯金	295,634	
音羽事務所 敷金	0	
前払費用	0	
商品(CD)	116,400	
商品(書籍)	13,800	
仮払金	8,080	
器具備品	1	
商標権	0	
資産合計		9,229,602
II 負債の部		
未払金		776,431
預り金		948,760
源泉分預り金		0
仮受金		3,061,208
前受金		4,169,128
負債合計		8,955,527
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,306,059
当期正味財産増加額		△ 1,031,984
正味財産合計		274,075
負債及び正味財産合計		9,229,602

令和4年度 特定非営利活動に係わる事業会計予算書

令和4年 10月 1日から令和5年 9月 30日まで

特定非営利活動法人  
日本ケア・カウンセリング協会

科 目	金 額 (単位:円)		内訳
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員年会費	1,320,000	1,320,000	8000*165
2 事業収入			
研修事業収入	1,800,000		
登録審査料	0		
登録料	0		
更新料	30,000		3000*10
書籍売上	0		
雑収入	0	1,830,000	
3 特別収入			
総会参加費	150,000	150,000	5,000*30
当期収入合計		3,300,000	
前期繰越金		274,075	
収入合計		3,574,075	
II 支出の部			
1 事業費			
通信発行費	50,000		25000*2
研修事業経費	1,500,000	1,550,000	
2 業務経費			
① 特別費			
総会開催費	20,000	20,000	
② 事務局費			
地代家賃	360,000		
人件費	780,000		パート
法定福利費	0		
パソコン関係費	0		
旅費交通費	96,000		
通信費	20,000		郵便 宅急便
事務用品費	10,000		コピー用紙・封筒ほか
保険料	0		
外注費	410,000		税理士、ホームページ更新他
水道光熱費	0		
商標権償却費	0		
減価償却費	0		
支払手数料	10,000		振込料
雑費	0	1,686,000	
当期支出合計		3,256,000	
当期収支差額		44,000	
次期繰越収支差額		318,075	